

芥川賞受賞作



コンビニ人間
村田 沙耶香 著

文藝春秋

主人公の恵子は、大学卒業後も就職せず、コンビニバイト歴18年目。未婚。正常と異常の境目がゆるぐ衝撃のリアリズム小説。

(石・国)

直木賞受賞作



海に見える理髪店
荻原 浩 著

集英社

母と娘、夫と妻、父と息子…近くて遠く、永遠のように儚い家族の日々。喪失から始まる、大人のための泣ける短編集。(南・石・国)

図書館であなたの人生の一冊に出会おう

読書人

今月のテーマ

芥川賞・直木賞

7月19日に第154回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。最終選考に残った作品と合わせてご紹介します。発表後に単行本化された作品など、現在発注中のものもありますので、詳しくは図書館にてお尋ねください。



直木賞候補作品



天下人の茶

伊東 潤 著
文藝春秋

天下人となった秀吉、茶の湯によって人々の心の内を支配した千利休。果たして勝者はどちらなのか？利休の死の真相は？ (石・国)



家康、江戸を建てる

門井 慶喜 著
祥伝社

我は、挑む者なり！低湿地の広がる土地を見た彼は、何を考えていたのか？家臣団の猛反対を抑え、日本史上最大プロジェクトが始まった！ (石・国)



暗幕のゲルニカ

原田 マハ 著
新潮社

反戦のシンボルにして20世紀を代表する絵画、ピカソの『ゲルニカ』。国連本部に飾られていたこの名画のタペストリーが突然姿を消す。(南)



ポイズンドーター・ホーリーマザー

湊 かなえ 著
光文社

女優の弓香は故郷の同窓会の誘いを断った。母親に会いたくないのだ。そんな折、「毒親」をテーマにしたトーク番組への出演依頼が届く。(南・石・国)



真実の10メートル手前

米澤 穂信 著
東京創元社

滑稽な悲劇、グロテスクな妄執一痛みを引き受けながらそれらを直視するジャーナリスト・太刀洗万智の活動記録。(石・国)

〈芥川賞候補作品〉

- ①あひる／今村 夏子 著 (たべるのがおそい4月号) ②短冊流し／高橋 弘希 著 (新潮1月号)
- ③ジニのパズル／崔 実 著 (群像6月号) ④美しい距離／山崎 ナオコ 著 (文學界3月号)

※雑誌「文學界」は3館で、「新潮」は南河内館、「群像」は石橋館で購読しています

◇紹介文の最後に、所蔵している図書館を表示してあります。【(南) = 南河内 (石) = 石橋 (国) = 国分寺】所蔵館以外でも予約をしていただければ貸出しが可能です。詳しくは図書館にお尋ねください。

南河内図書館 ☎(48)2395 / 石橋図書館 ☎(52)1136 / 国分寺図書館 ☎(44)3399

